

国際情勢急変に対する備えが不可欠

新たな世界秩序と日米関係

第3回 激変する朝鮮半島情勢と日本



拓殖大学海外事情研究所所長

川上 高司

中国による北朝鮮対応策は限界に 米中の圧力に対してICBM実験

オバマ政権の「戦略的忍耐」は終わったと宣言し、トランプ政権は4月にはカール・ビンソンとロナルド・レーガンの空母2隻を派遣し北朝鮮への軍事的圧力をかけた。トランプ政権は挑発を続ける金正恩政権に対して、習近平国家主席に要請し北朝鮮のミサイル発射と核実験の中止を働き掛けさせた。

しかしながら一向に功を奏する様子はない。北朝鮮は米中の圧力に屈することなく、米国土土まで到達可能なICBMの実験まで行った。頼りにしていた中国も、ロシアと一緒に米国の北朝鮮との対話を要請する始末である。ここにきて北朝鮮問題を中国にだけ任せる対応策には限界があることが露呈してきた。米国はこれまで北朝鮮のミサイル開発と核実験をある手この手で封じ込めようとしてきたが、すべて失敗

合意(1994年)、6カ

国協議の共同声明(200

5年)、米朝合意(2001

2年)を全て反故にした。

金正恩朝鮮労働党委員長

は、リビアのカダフィ政権

の崩壊は核開発を断念した

ためだとして、北朝鮮の核

保有に自らの生存をかけ2

012年には憲法に核保有

国であることを明記した。

ハードランディングかソフトランディングか

問題解決に向けた米政権の二つのシナリオ

北朝鮮の目的は、米国との核戦争を闘い抜く核戦力ではなく、サンフランシスコなど人口の密集する大都市を核攻撃できる能力を持つことであり、米国の第一撃を躊躇させる「最小限抑止」をできるだけ早く確保することにある。このため、北朝鮮に核開発を放棄する意思はない。

したがって、トランプ政権が北朝鮮問題を解決する

にはハードランディングあ

るいはソフトランディング

のシナリオしかない。

ハードランディングのシ

ナリオは米国の先制攻

撃である。北朝鮮はすでに

米国土土(アラスカ、ハワ

イ)まで到達するミサイル

実験に成功している。

さらに第6回目の核実験

が行われれば、実際の配備

までには半年から1年も

言われている。米国が北朝

鮮を先制攻撃するタイミン

グは「今」しかない。この

タイミングを逃せば北朝鮮

は最小限抑止を持つであろ

う。

米国の北朝鮮に対する先

制攻撃のシナリオに、北朝

鮮の核施設や兵器やリーダ

ーを殲滅する作戦計画「O

PAN5015」がある。

米軍は3〜4月に朝鮮半島

近海で演習を行いこの作戦

計画を確認して、いつでも

攻撃できる態勢はすでに整

っている。この時にもし、

が、中国抜きでは難しい。

北が核保有でも戦略的安定可能な米国

本場の狙いは中国とのデイルか

次のソフトランディング

の開始などに応じるように

のシナリオは米国が先制攻

撃の機会を逃し、北朝鮮が

核保有をしようとする事

ある。

米国の本場の狙いは中国

とのデイル(取引)で、

北朝鮮問題はその延長線上

にすぎない。米国にとり北

朝鮮が核保有をしたとして

も、米国を本格的に威嚇で

きるほどの戦力は持ち得な

いし、戦略的安定が維持で

ければ、それほどマイナス

ではない。

このシナリオは米国が中

国とデイルを行えば起こ

り得る。米中首脳会談では

中国は米国に対して北朝鮮

を説得するため、朝鮮戦争

時の休戦協定を平和協定に

切り替える交渉や、経済援

助の実施、国交正常化交渉

に飲み込まれてしまう。

米国が中国と話し合いをつ

けていけば、ある段階で中

国が米国と共同する形で軍

事的介入が行われることも

否定できない。

しかし問題なのは、金正

恩体制を崩壊させ核関連

施設などを除去した後の

北朝鮮の国家創造活動

(Nation Building)であ

る。米国が傀儡政権を立て

るのか、中国に任せるの

か、米中による共同管理を

行うのかになるであろう

が、中国抜きでは難しい。

この場合、韓国に新たに

誕生した文在寅政権が北朝

鮮との宥和政策を一気に進

める可能性もある。そうな

れば、朝鮮半島有事にお

ける作戦統制権の米韓連合軍

司令官から韓国軍への移

管、THAADミサイルの

韓国配備中止、国連軍の解

体から在韓米軍の撤退へと

急速に話が進展する可能性

もあることを、わが国は念

頭におかねばならない。

両者いずれのケースでも

わが国の存亡にかかわる問

題で、ごく近い将来現実化

する可能性が非常に高い。

日本はそのための備えを早

急にしなければ、身近に起

きる急激な国際情勢の変化

に飲み込まれてしまう。

北朝鮮に核放棄の意思なし